

令和6年度
シラバス

普通科1年

福島県立小名浜海星高等学校

＜観点別評価・評定の算出方法＞

- (1) ①～③の観点別評価は、それぞれを100点満点とし、以下の到達度に応じて観点別評価をします。

観点別の点数	評価
72.6 ～ 100	A
37.6 ～ 72.5	B
0 ～ 37.5	C

- (2) ①～③の観点別の点数を合計(300点満点)し、3で割った点数が評点となり、5段階評価に使用されます(小数点以下四捨五入)。

- (3) 以下の表に基づいて評点から評定を算出します。評定「1」は欠点となり、単位不認定となります。

評点	評定
80 ～ 100	5
65 ～ 79	4
45 ～ 64	3
30 ～ 44	2
0 ～ 29	1

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	3
対象クラス	普通科1年		授業担当者	永瀬雄次・豊田浩美	

1 授業の内容と目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
対象クラス	普通科1年		授業担当者	松田妙子・浅川康夫	

1 授業の内容と目標

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言語感覚を磨き、言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	4
対象クラス	普通科1年	授業担当者	小林毅之・渡部文恵		

1 授業の内容と目標

- (1) 自然と人間を科学する地理の基礎知識と技能を身につける。
- (2) 世界や人類が直面する課題を知り、課題の解決について考える。
- (3) 異文化への理解を深め、新しい環境を受け入れる柔軟で広い考え方を身につける。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考查	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考查・単元テスト・授業態度・提出物
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考查・単元テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物

教科	数学	科目	数学I	単位数	3
対象クラス	普通科1年	授業担当者	佐藤 葵 (T.T 安島久美子)		

1 授業の内容と目標

- (1) 数と式：まず、小中学校の計算復習を行うことで、高校の数学への準備を行います。次に、式の展開・因数分解、不等式など、復習から高校の内容へ繋げ、計算力をアップさせます。
- (2) 2次関数：中学校で習った関数 $y = ax^2$ のグラフ・性質を確認した後、3種類の2次関数に発展させていきます。グラフがかけられるようになること、関数を用いた問題解決が目標です。
- (3) 図形と計量：測量のために生み出された三角比について学びます。三角比の性質や求め方について学び、測量の考え方に繋がります。角の大きさや辺の長さを求められることが目標です。
- (4) データの分析：多数のデータの特徴を適切に捉える方法を学習します。様々な情報が溢れる現代社会で、データを「読み解く力」を養います。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考查	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考查、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考查、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	角田 春太	

1 授業の内容と目標

- (1) 場合の数と確率：ある事柄について、起こりうるすべての場合、1列に並べるときの並べ方、組合せの総数を求める方法を学び、様々な事柄が起こるときの確率を求められるようになることで、事象の起こりやすさを判断する力を養います。
- (2) 図形の性質：三角形や円の性質を学ぶことで、図形の性質を見出し、論理的に考察する力を養います。

2 評価の観点

- ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教 科	理科	科 目	科学と人間生活	単位数	2
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	古川佳世子	

1 授業の内容と目標

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。
- (2) 観察・実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 評価の観点

- ① 知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査・小テスト
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	0 %	100%	授業態度・実験態度・提出物

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3
対象クラス	普通科1年	授業担当者	清水・若松		

1 授業の内容と目標

陸上競技、体づくり運動、球技、水泳、ダンスなど様々な運動を通して楽しさや喜びを味わう授業です。次のことを目標とします。

- (1) 約束事やルールを守る態度の確立
- (2) 健康・安全に気をつけて、仲間と協力して、自己の役割を果たす態度を育てる
- (3) 体の調子を整え、体力の向上を図る
- (4) 生涯を通して継続的に運動ができる資質を養う

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考查	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	学習カード、スキルテスト、授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	学習カード、授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習カード、授業態度

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
対象クラス	普通科1年	授業担当者	若松 千春		

1 授業の内容と目標

健康を成り立たせる要因について学び、自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・や能力を育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
- (2) 我々の身に起こりえるや健康課題や社会の課題を学び、仲間と協力して解決方法を模索する。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評価項目
		考查	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	学習ノート、定期考查、授業態度、提出物
②	思考・判断・表現	70%	30%	学習ノート、定期考查、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習ノート、授業態度、提出物

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	湯田 雅人	

1 授業の内容と目標

- (1) 演奏の授業では、歌唱と器楽に取り組みます。歌唱では、ポップスや外国語の歌曲といった幅広い楽曲を取り扱います。曲に合った発声法を身に付け、独唱や合唱を楽しみましょう。器楽では、ボディーパーカッションやリコーダー、三味線やヴァイオリンなど、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっています。様々なジャンルにチャレンジし、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
- (2) 創作の授業では、自分で作った作品を発表したり、作品について互いに意見を交換したりする機会を設けます。創造力に加え、プレゼンテーションの力も身に付けましょう。
- (3) 鑑賞の授業では、聴くだけでなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽の良さや美しさをより深く味わう力を身に付けましょう。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	0 %	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験
②	思考・判断・表現	0 %	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験
③	主体的に学習に 取り組む態度	0 %	100%	学習プリント・観察・聴取・小テスト 創作作品・実技試験・授業態度・自己評価

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	川澄直子	

1 授業の内容と目標

- (1) 目標：美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
- (2) 学習内容：絵画（鉛筆デッサン、模写、水墨画、油彩画）、デザイン（レタリング、平面構成）
工芸（切り絵、篆刻）彫刻（石彫、木彫）鑑賞など主に制作活動が中心となる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	0 %	1 0 0 %	小テスト・提出作品・授業態度
②	思考・判断・表現	0 %	1 0 0 %	小テスト・提出作品・授業態度
③	主体的に学習に 取り組む態度	0 %	1 0 0 %	小テスト・提出作品・授業態度

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	上遠野智深	

1 授業の内容と目標

- (1) 書の表現の方式や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	小テスト・授業態度・提出物
②	思考・判断・表現	0%	100%	授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション英語 I	単位数	4
対象クラス	普通科 1 年		授業担当者	小林伸子	

1 授業の内容と目標

- (1) 英語を読んで（聞いて）内容を理解し、学習内容について英語で話したり書いたりすることができる。
- (2) 相手に英語で自分の考えや気持ちを伝えられるようになる。
- (3) 授業で学んだことを生かして自分の考えや気持ちを英語で表現できるようになる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	80%	20%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2
対象クラス	普通科1年	授業担当者	遠藤 香		

1 授業の内容と目標

- (1) 生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、衣食住に係る技能を身に付ける。
- (2) 将来の生活に向かって目標を立て、自分らしい生活を設計することができる。
- (3) 家庭や地域の生活課題について実践的な態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に 取り組む態度	0%	100%	授業態度・提出物